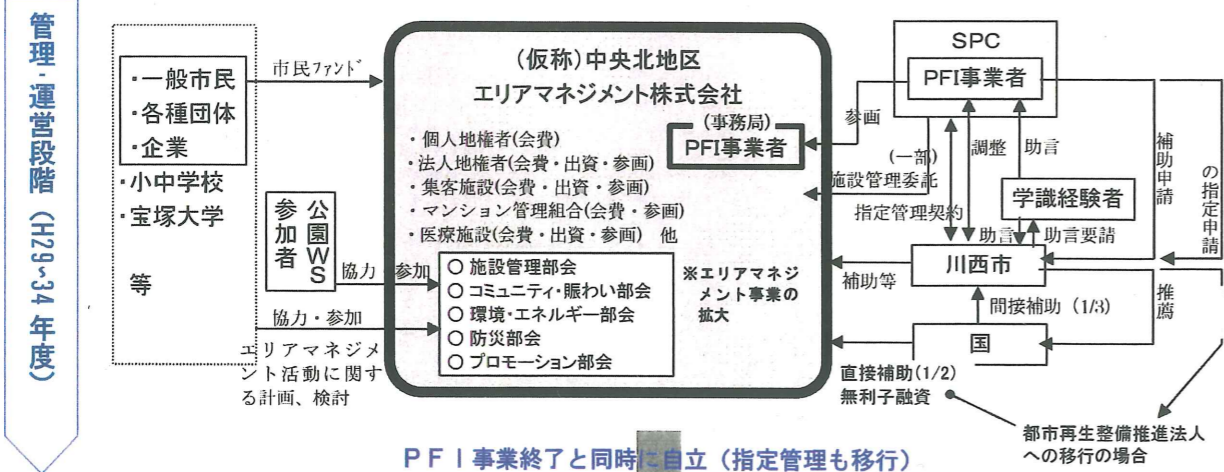
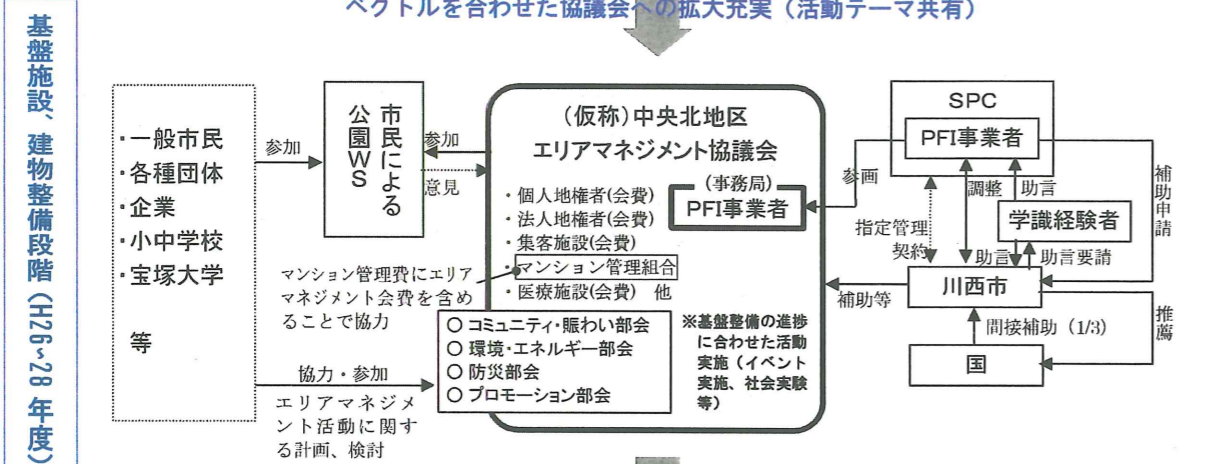
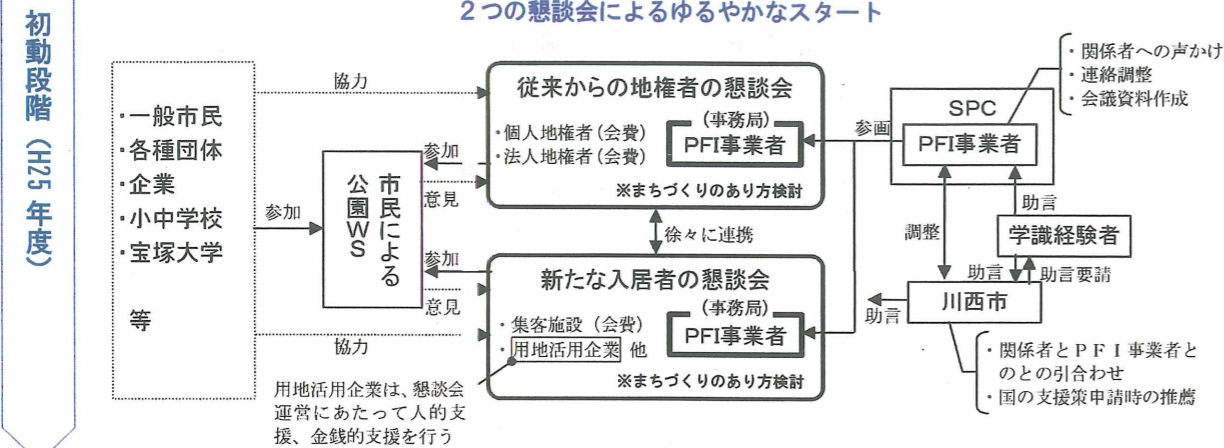


中央北地区全体のエリアマネジメント計画 (2) 中央北地区に立地する各種主体との連携

1. 地区内の民間事業者等の持続的連携を創出するテーブルづくり

■ PFI事業終了後の自立を前提とした連携のスキーム

・本地区のエリアマネジメントにあたっては、PFI事業終了後の自立を前提とした、地区内の民間事業者等を巻き込んだ組織づくりが重要です。以下に段階ごとの組織イメージを示します。



PFI事業終了と同時に自立 (指定管理も移行)

中央北地区全体のエリアマネジメント計画 (2) 中央北地区に立地する各種主体との連携

2. 市民が楽しみながら参加できる取り組み活動 (例)

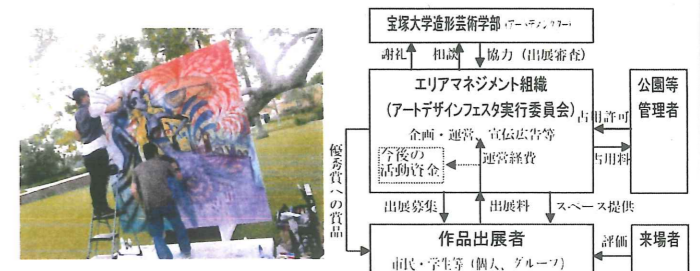
■ [マンション敷地を活用したオープンカフェ]

- ・ PFI事業として15街区に建設するマンションのエントランス広場を活動拠点として企画・運営します。
- ・ 用地活用企業が整備する厨房や機材をエリアマネジメント組織の一員となる管理組合が引き継ぎ、管理・活用します。



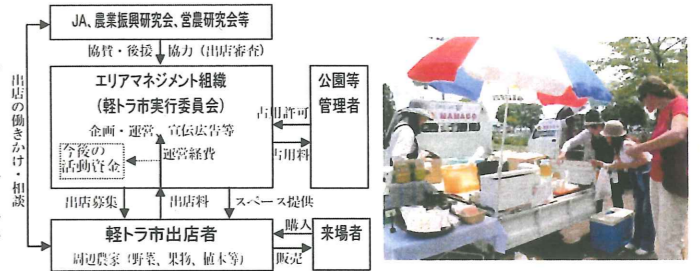
■ [宝塚大学と連携したアートデザインフェスタ]

- ・ 中央公園及びせせらぎ遊歩道を舞台に、アマチュアによるアート展を企画し、優秀賞には賞品を提供します。
- ・ 川西市と官学連携協定を結ぶ宝塚大学との連携イベントとし、将来は中心市街地全域での開催を目標に徐々に拡大させます。



■ [地域の特産物を格安で提供する軽トラ市]

- ・ 中央公園及びせせらぎ遊歩道において、地域の特産物を軽トラの荷台のまま販売する地産地消の市の開催を企画します。
- ・ 将来は大きな集客イベントとするため、市内外の農業団体からの協賛を働きかけ、広く周辺エリアからの出店者を募集します。



■ [環境の大切さを伝えるせせらぎ生きもの教室]

- ・ せせらぎに棲息する植物や魚、昆虫等の生きもの調査と水質調査を通じて、生きものと自然環境との繋がりについて勉強し、地域環境づくりに活かします。
- ・ せせらぎ遊歩道ワークショップでも関わりのあった大阪府立大やNPOの協力を得て開催することを提案します。



3. 各種主体の連携の取り組みについて

- ・ 集客施設、医療施設、住宅施設は、共に協議会や法人への参画により、地区のエリアマネジメント活動に深く関わるほか、各主体の特性を活かし、以下のような連携の促進を図ります。

■ 平常時の連携の取り組み提案

- ・ 集客施設はイベント開催のためのスペース提供や地元雇用等を通じて、また、医療施設は健康づくりのための教室の開催等を通じて、各々地域に関わるよう働きかけます。
- ・ 住宅施設は、サークル活動やオープンカフェにも活用できる多目的スペースのほか、病児保育等の子育て支援機能の地域への開放などを通じて、地域連携を醸成できるよう働きかけます。

■ 災害時の連携の取り組み提案 (災害協定)

- ・ 集客施設からは食料・飲料水や生活物資、電力を、医療施設からは避難所の巡回による避難者の医療救護活動を、また、住宅施設からは防災活動のサブ拠点としてのスペースを、互いに提供し合うなど、災害時の協定の締結について働きかけます。